放課後等デイサービス　事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年　3月　5日

事業所名：イオ平和

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	1	・動く部屋と静かな部屋静養室等活動の用途によって過ごす場所を分けている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	1	5		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2	0	・活動会議を行うことで全員が活動の進行役になれるようにしている。	・活動会議内での決める項目について精査し、効率よく進められるようにする。 ・当日の流れの決定について進行役のみではなく全員で相談することで負担の軽減を図る。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	・毎年行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	・毎年行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	0	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	・オンライン研修を中心に、事業所内でも虐待拘束、感染症等テーマを決めて実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	・マンネリ化しないように様々な活動プログラムを準備している。	・書籍を活用し、今まで行っていなかった活動を児童ひとりひとりの課題や強みに活かせる観点から取り入れていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	・同上。	・同上。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3	0		・1日利用時はより多くの児童の課題活動を時間ごとに設定をし、取り組んでいくことを検討する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	1		・ケース記録や連絡帳を記入することで業務が終了してしまうことがあるため、児童帰宅後の記録における時短のための業務改善を検討する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	3	2	0		・改めて5領域に照らし合わせて活動プログラムのリストアップを行う。

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1	0	・下校時間については保護者を通じて確認を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	2	・現在医療的ケアが必要な児童の受入はしていない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	0	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	0	4		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	0	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	1	1	3		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	・変更があった際都度説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	4		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	・毎月会報を作成している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	・SNSに写真を投稿する際、2人以上で確認をしてから投稿している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0		

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	0	3		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	・毎月1回は避難訓練を行うことを目標に実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0		・月に1回チェックリストを活用して支援における虐待拘束について確認を行う。 ・定期的な研修を継続して行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	0	・契約時に確認をし、目に見える箇所に張り出し、おやつの準備の際に確認をしながら選別している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3	0		・日誌の欄にヒヤリハット事例をメモし、翌日のミーティングの際に共有と振り返りを行う。